

令和7（2025）年度（公民館職員専門研修）

公民館職員スキルアップセミナー 実施報告

実施日：令和7年9月17日（水）

本研修は、講話や演習等をととして生涯学習・社会教育に関する近年の動向や今後の振興方針等を学び、公民館等職員としての資質・能力を高めることをねらいとした研修です。今回は14名の方が受講されました。

○講話・演習「“伝わる広報” “広がる学び” のための ICT 活用 ～公民館の次なるステージへ～

講師：特定非営利活動法人ジェンダー平等 Labota 事務局長 坂田 静香 氏

講師に、特定非営利活動法人ジェンダー平等 Labota の坂田静香先生をお迎えし、地域活動における広報と企画の力について、実践的な視点からお話いただきました。「人が集まらない講座には、理由がある。」との言葉が印象的であり、企画の魅力や広報の言葉選びが参加者の心を動かす鍵となることを実際の講座例を交えながら学びました。また、キャッチコピーや数字の見せ方など、現場で生かせるヒントも多く、広報手段の選び方や対象者の視点に立った情報収集の重要性、他団体との連携など、公民館活動の幅を広げるアイデアも数多く提示されました。ICT の活用による情報発信の多様化と柔軟な発想の必要性についても理解を深めることができ、“まずは企画ありき”という言葉のとおり、誰に、何を、どのように届けるかを丁寧に考えることが、広報の第一歩であると再認識する機会となりました。



○情報交換「ICT の活用や広報に向けてできることを語り合おう」

総合教育センター職員

「ICT の活用や広報に向けてできることを語り合おう」をテーマに、情報交換を行いました。受講者は、現場での ICT 活用や広報の工夫や課題、導入に向けた不安や期待などを率直に共有し合いました。それぞれの立場からの意見交換を通じて、新たな視点や実践のヒントを得ることができ、今後の取り組みへの意欲を高める有意義な時間となりました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・チラシ作成において、対象を絞り、情報を選別することの重要性を学びました。講座選定に当たっては、しっかり情報収集をし、エビデンスに基づいた上で実施していきたいと感じました。
- ・漠然と既存内容の見易く、分かりやすいチラシを作っていましたが、目から鱗が落ちました。今後は戦略性を持たせて効果的なチラシを作りたい。
- ・坂田先生の講話は、実例を用いた、とても分かりやすく、実践で使えるとてもよいお話でした。受講してよかったです。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp